



# 学校だより

令和2年2月28日(金)

上田市立 塩田西小学校

No. 11

文責 瀬志本 進

## 「座右の銘」 (2月12日 校長講話にて)

「座右の銘」という言葉を聞いたことがありますか。人が生きていく上で大切にしている言葉や考え方のことです。

人は、人生の中でいろいろな人に出会います。その出会いの中で、いろいろな考え方や言葉に感銘を受け、生き方を見直すことがあります。

元プロ野球選手で、読売巨人やニューヨークヤンキースで活躍し、国民栄誉賞を受賞した松井秀喜さんは、小学校3年生の時にお父さんから贈られた言葉を大切に練習に励んだそうです。「努力できることが才能である」という言葉です。松井さんのことを天才であると言う人もいますが、本人は決して自分のことを天才だとは思っていないそうです。父親から贈ってもらった言葉を常に心に置いて、誰よりも努力を積み重ね、あれだけの成績を残したそうです。

私の話をします。前にも話しましたが、私の父も教員でした。20年前に他界しています。生前、父は、よく「人には優しく温かく、自分には厳しく」(江戸時代の儒学者・佐藤一齋の「春風秋霜」の精神)とっていました。私はこの言葉が好きで、常に心に置いて生きています。

皆さんは、今大切にしている言葉がありますか。

これからの人生、素晴らしい人や言葉に出会えるといいですね。

これでお話しを終わります。今日もしっかり聞いてくれてありがとう。



## 1年 豆まき

図工でお面を作り、自分の中から追い出したい鬼を考えて豆をまきました。「わがまま鬼を追い出したい。」「好き嫌いをなくしたい。」「忘れ物をする鬼を追い出したい。」「・・・大きな声で「鬼は外!」「福は内!」と豆を投げました。また、いつもお世話になっている2年生と6年生の教室へも行き、豆まきをしました。自分の中の鬼を追い出せるよう願っています。



## 1・2年 けん玉講習会

1月29日(水)上田けん玉クラブの清水悟さんにお越しいただき、けん玉の技を見せていただいたり、けん玉のコツを教えていただいたりしました。

見たこともないような難しい技を見せてもらうと、思わず拍手と歓声があがりました。けん玉の楽しさと奥深さに引き込まれていくな1時間でした。

「けん玉が楽しい!」と思えることが、上達への一番の近道。みんなでけん玉を楽しみながら挑戦してみたいと思います。



